「インフラメンテナンス市区町村長会議　中部ブロック会議」 開催概要

- 令和5年12月1日に、「インフラメンテナンス市区町村長会議　中部ブロック会議」を開催しました。
- 第一部のDIY現地講習会では、大野町総合町民センターに架かる小規模橋梁においてDIY補修を行いました。
- 第二部の活動報告では、大野町、静岡市、豊川市、南伊勢町が企画委員の活動を報告しました。続いて、岐阜大学の國枝教授、中部道路メンテナンスセンター長、中部フォーラム リーダーがインフラメンテナンスについての講演を行いました。

＜日 時＞令和5年12月1日（金）13時30分から17時00分　＜会 場＞大野町総合町民センター　※WEB併用
＜参加者＞企画委員：4市町、構成員：45市町

＜第一部　DIY現地講習会＞
　■小規模橋梁のDIY補修
＜第二部　活動報告＞
　■開会挨拶　宇佐美　晃三　大野町長（中部ブロック幹事）
　■来賓挨拶　佐藤　寿延　　国土交通省中部地方整備局長
　■活動報告　宇佐美　晃三　大野町長
　　　　　　　難波　喬司　　静岡市長
　　　　　　　竹本　幸夫　　豊川市長
　　　　　　　上村　久仁　　南伊勢町長
　■講演　　　「小規模橋梁を対象としたコンクリート用DIY補修の紹介」
　　　　　　　國枝　稔　　　岐阜大学工学部社会基盤工学科教授
　　　　　　　「中部道路メンテナンスセンターの取組」
　　　　　　　吉川　昌宏　　中部道路メンテナンスセンター長
　　　　　　　「中部フォーラムの活動紹介とインフラ維持管理に関する新たな取組みについて」
　　　　　　　原田　和樹　　中部フォーラム　リーダー

＜第一部　DIY現地講習会＞

DIY補修（小規模橋梁）

説明状況

「インフラメンテナンス市区町村長会議　中部ブロック会議」開催概要

＜第二部　活動報告＞

■開会挨拶

インフラメンテナンス市区町村長会議はインフラメンテナンスに特に関心が高い首長で構成されている。我々が先導して中部ブロックのインフラメンテナンスが活性化されるよう協力して取り組むことが大切である。

宇佐美　晃三　大野町長（中部ブロック幹事）

■来賓挨拶

インフラメンテナンス国民会議の立ち上げに携わった。インフラメンテナンスは国民運動でやるべきとの思いで会議の名称を決めた。参加者も当初より大幅に増えた。国民運動として地方レベルの取組みがさらに定着するよう努力していきたい。

佐藤　寿延　中部地方整備局長

■会場風景

■活動報告

2023年度、町内の小規模橋梁の75%を職員が直営点検する。約540万円の費用を削減する。

宇佐美　晃三　大野町長

橋梁点検においてレーザースキャナによる点群データを取得し、3Dモデルを作成する。現場状況を可視化する。

竹本　幸夫　豊川市長

道路の状態把握のため、民間保険会社の契約企業の車に搭載のドライブレコーダのデータ活用を検討する。

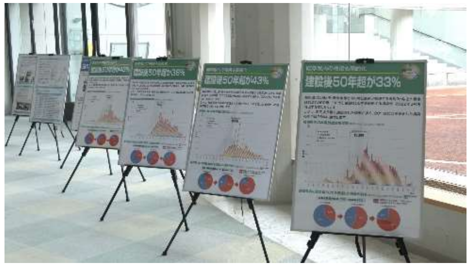
難波　喬司　静岡市長

東宮隧道において、既設覆工（吹付モルタル）の剥落防止対策を実施した。

上村　久仁　南伊勢町長

■VR体験

■パネル展



■講演

小規模橋梁において点検だけやっていても構造物はよくならない。予算不足、人材不足の中、水の制御に着目した市町村の職員自らが行うDIYは有効ではないか。

「小規模橋梁を対象としたコンクリート用DIY補修の紹介」
岐阜大学工学部社会基盤工学科
國枝　稔　教授

「インフラ群を包括的に維持管理」する新たな試みについて、我々中部フォーラムと勉強会などの取組みを始めませんか。先駆的な成功体験を共有したい。

「中部フォーラムの活動紹介とインフラ維持管理に関する新たな取組みについて」
中部フォーラム　原田　和樹　リーダー

道路によって町が栄える。みんなが豊かになる。ちゃんとメンテナンスして子供たちにその資産を残すことが私たちメンテナンスセンターの思いである。

「中部道路メンテナンスセンターの取組」
中部道路メンテナンスセンター
吉川　昌宏　センター長

■閉会挨拶

5月にインフラメンテナンス市区町村長会議と技術的助言や人材育成等の面で連携するための協定を締結。より一層の連携強化に努めてまいりたい。

村田　啓　土木学会中部支部幹事長